

益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会(島根県益田市)

○島根県西部に位置する益田市は、中国山地の山々と日本海に挟まれ、山と海を結ぶ清流・高津川に恵まれた自然豊かな町であり、「ワサビ」や「鮎」など綺麗な水が育む食材が名産品となっている。

○日本遺産にも認定され、中世の歴史に触れることも出来る。戦国時代には、豊富な食材を用いた饗応料理を戦国武将・毛利元就にふるまい、和睦に成功している記述が残されており、当時の料理を再現した『中世の食』も体験できる。

【地域の食】



【うずめ飯】

山葵をご飯でうずめ、出汁でいただく郷土料理。(山葵は高価だったため、客に気を遣わせないようにご飯で隠したおもてなし料理)



【鮎雑煮】

お正月に食べられている郷土色豊かな雑煮。

【5ヶ年計画の定量目標】

KPI	R3	R7
外国人旅行者 宿泊人数	609人	930人

【周遊ルート】

山の恵みを味わう



- ・森に囲まれたわさび田
- ・地元の方に教わるうずめ飯づくり
- ・中国山地の峡谷美「匹見峡」

川の恵みを味わう



- ・地元の方に教わる鮎雑煮づくり
- ・水質日本一の高津川での鮎釣り
- ・透明度の高い水を体感できるカヤック

益田の歴史文化を味わう



- ・雪舟が作った庭園をみながら『中世の食』を味わう体験
- ・文化財のお寺で座禅体験
- ・地元で人気の『真砂豆腐』づくり体験